

どう生きればいいのか？

人が健康でいるために
あらゆる観点から研究をし続けた
丸山先生が
今あなたに贈るメッセージ！

『十言神呪』 Vol.32からの続きです



丸山アレルギークリニック理事長
丸山 修寛

幸せになる情報マガジン
丸ちゃん通信 vol. 33

2023年9月発行

丸山修寛の呟き
最新情報を
更新中♪



私と神様

自分の意識を神様がおられるあたり(左肩)にシフトすると、神様がぼくで、ぼくが神様のように感じる。そして、これが神様でこれがぼくというように、ぼくと神様は厳密には分けられないことが分かってきた。すると、こんなメッセージが突然、頭の中に浮かんできた。このメッセージは頭の中で考えて出てきたものではなく、本当に湧き水が流れるように自然に出てきたものである。

『ぼくをとおして生きている神(意識)がいる。そして、その神は赤ちゃんの頃のぼくの身体を後ろから動かしてきた神でもある。その神が、今も、ぼくの身体を動かしているし、今のぼくを生かしてくれている。そして、その神とは自分自身でもある』というメッセージだった。余談だが、このメッセージを受け取ってからは理解のある患者さんに『あなたをとおして生きている神(意識)がいる。そしてその神こそが本当のあなただ。その本当のあなた(神)の力を使えば病気も治る』とお伝えしている。今、ぼくがここに書いたことを世間の常識に照らし合わせた場合、正しいかどうかはわからない。でもこれは今の自分にとっては真実に思える。

世界が変わる

自分の意識を神様がいる左肩の方に大きくシフトさせると、それまで自分という個人の意識だけで見ていた景色と違った景色が見えるようになる。

まずは世界を見る見方が変わる。目で見るのではなく、世界を意識で視ているような感じになる。魚眼レンズで世界を見てるように世界がゆるい球体に見える。そしてその球体の中心に自分がいる感じに世界が見える。まるで、自分がプラネタリウムの真ん中あたりにいるかのような感じと言ってもいいかもしれない。



世界の中心から愛を叫ぶというタイトルの映画があったが、あんな感じになるのだ。

世界は完全で完璧

このような視点から世界を見るようになると、自分がいる世界を自分自身が創造しているように感じる時がてくる。そして、そのような心の状態の時、自分の目の前の世界は、自分が創造した非の打ち所がないくらい完全で完璧な世界であるという思いを自分の心の中で抱くようになる。すると目の前の現実が大きく変わる。

その思いをハート(胸のみぞおちあたりや背中側)に落とし込む。すると、私の身体のあちこちに心地よいバイブレーションが(数分くらい)起こる。そしてバイブレーションが止まった時、目の前の患者さんの症状は高い確率で消える。この時、症状の変化だけではなくもっと大きな変化が目の前の患者さんに起こっている場合がある。というのは、症状が消えた患者さんが、次の診察の時に『自分が体験する世界が素晴らしい方向に変わった』ということがあるからだ。自分の意識を神様の方へシフトさせてから、自分の目の前の世界が完全で完璧な世界であると思うと、世界は本当に完全で完璧な世界になろうとする。皆さんもぜひ一度やってみてほしい。

丸ちゃん通信 VOL. 33 (2023年9月15日発行)

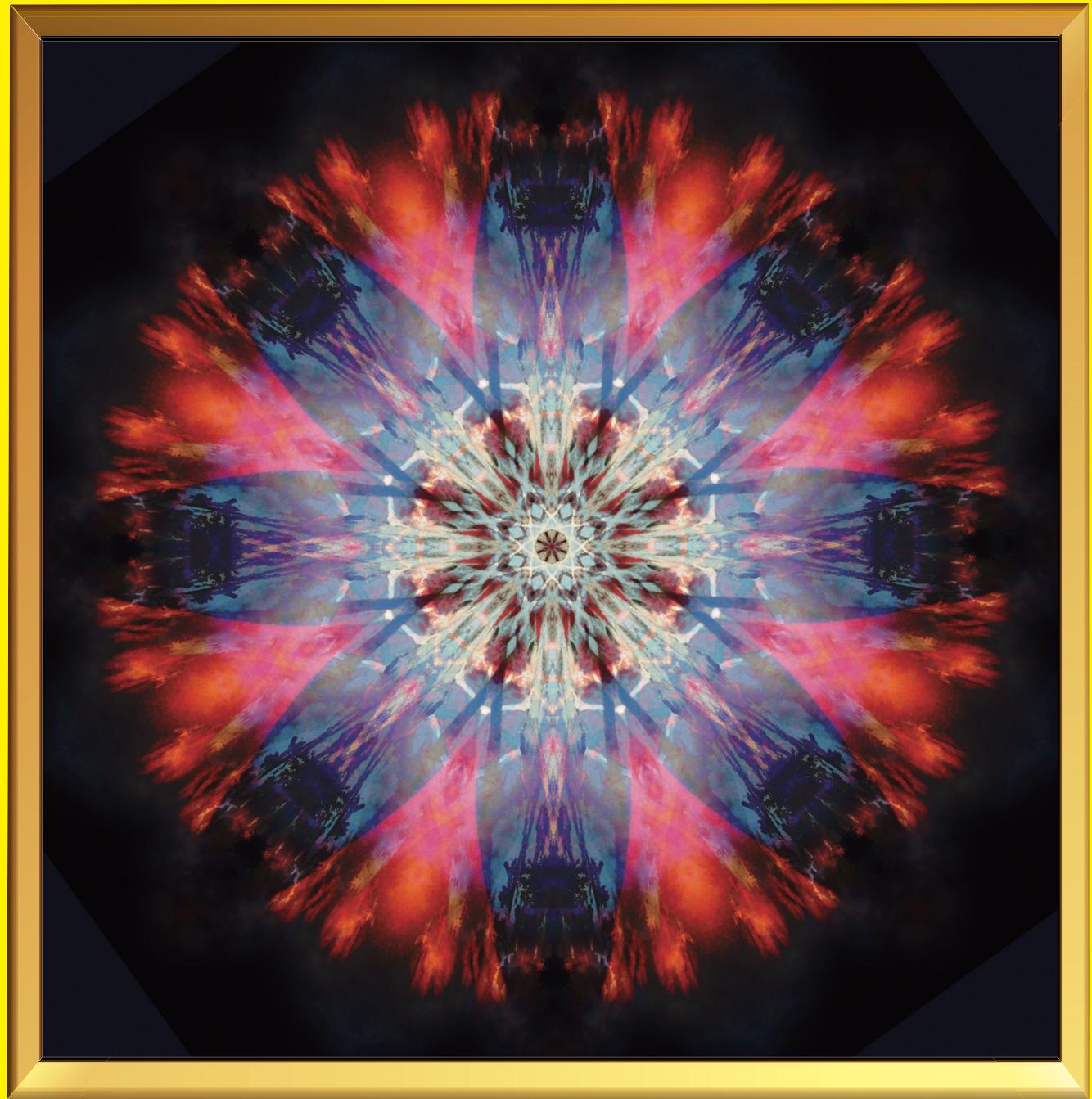
◎発行：丸山 修寛 ◎問い合わせ先：info@maruyamanobuhiro.com

◎編集・送付元：株式会社ユニカ

大好評の
DVD・音声教材は
こちら
QRコードから



*この案内は株式会社ユニカでダイレクトメール送付希望登録されているお客様へもお送りしています。
※配信停止を希望される方は、上記アドレスまでご連絡をお願いします。

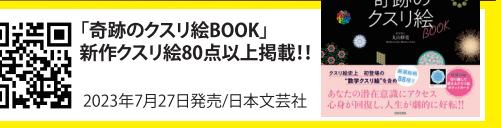


今回のクスリ絵 フラビ

このクスリ絵は、悪運を跳ね除け、素晴らしい人生を送るサポートをしてくれます。ほとばしるような赤は、エネルギーが放射状に勢いよく広がる様子を示しています。青は眉間にある松果体を刺激する色で、現実をよい方向に導く力を持ちます。この絵を見ながら宇宙に「感謝します。ありがとうございます」、地球上に「感謝します。ありがとうございます」、父母、すべての人やものに「感謝します。ありがとうございます」と毎日言うと、必ず人生は好転します。

クスリ絵®とは

眺める・触れるだけで体の不調が消え、運気が上がる「クスリ絵」は、医師・丸山修寛が研究・開発したオリジナルのアート。神聖幾何学、数字、パワーを持つ形によって描かれた「クスリ絵」は、生命エネルギーの調整や人間が持つ自然治癒力、潜在能力を引き出すのに最適な形や色でつくられたものです。



OPEN



立体カバラを持つことは、人間の本質である一靈四魂を強化し、エネルギーや情報が送られるシステムを強固にします。

人が人の意識を持ちながら神の意識に至るために、立体カバラは必要不可欠です。神は言います。「早く自分(神)がいるところまで上がってこい。」と。それを可能にするのが立体カバラです。

あなたの人生を 良きものに創造する

奇跡の立体カバラ

連載 第6回

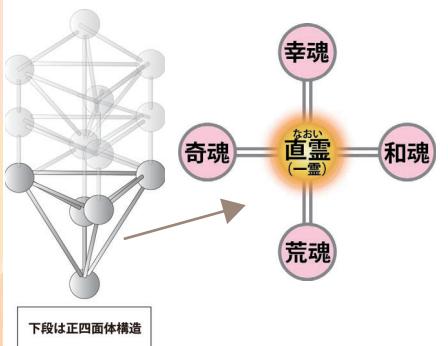
一靈四魂の強化安定

立体カバラの下端にある正四面体構造は、人間の非物質的な側面である一靈四魂と同じ形をしています。人間の一靈四魂の正四面体構造は物質ではないので、いつも簡単に有害な電磁波や自分や他人からくる負の感情や思考のエネルギーによって、その構造が歪んだり、壊れたりします。

すると、一靈四魂から人体に生命エネルギーや生命を維持するための情報が正しく伝えられなくなります。すると人は元気がなくなり、やがては病気になってしまいます。

ところが、立体カバラを持っていると、一靈四魂の正四面体構造に異常が起きてもすぐに正常な状態に戻ります。一靈四魂が立体カバラのもつ正確な正四面体構造を形づくる情報をすばやく写し取り、一靈四魂は瞬時に本来の正四面体構造を取り戻すからです。

立体カバラを持つということは、人間の本質である一靈四魂を強化し、一靈四魂からエネルギーや情報が送られるシステムを強固にすることになります。これが立体カバラが人を病気から救い、病気を予防する力をもつ理由です。



【プラーナ管】

天空（宇宙）から光が

立体カバラを両手で持つと、天空（宇宙）から稻妻のような速さで光が降りてきます。光は立体カバラと人を貫き、地球の中心にまで達します。人が立体

カバラを持つと、天空（宇宙）と地（地球）を結ぶ光の柱ができます。カバラの語源である『受け取る』が起きた瞬間です。

人の体には、もともと天空（宇宙）からの光を通す管があります。この管は目には見えませんが、人の頭の頂点と会陰を一直線に結んだ線上にあります。これをプラーナ管といいます。プラーナ管は脊髄の中を通っていませんが、脊髄や脳に多大な影響を与えます。

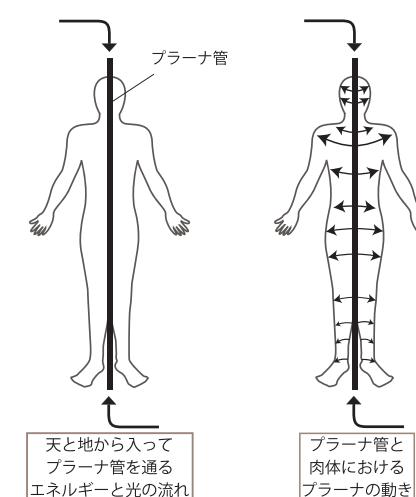
プラーナ管とは

人が元気でいるためには、水や食べ物、酸素だけでは十分ではなく、プラーナ（氣）が必要不可欠です。プラーナ（氣）を受け取るために、プラーナ体といいます。

プラーナ体は、生命の基盤である電気と磁気を帯びた生命場であり、プラーナ管は生命場の中心に位置する電磁場の中央導管になっています。

天空（宇宙）から頭頂に向かって垂直に下りてくる光は身体の中心にあるプラーナ管を通って地球の中心に到達した後、反転して再びプラーナ管を行って人体を貫き天空に帰っていきます。天空からの光は、その過程でプラーナ（氣）として全身へ供給されます。もし、プラーナ管が十分に開いていないかったり、どこかで詰まっていたりしたら氣やプラーナは人体に供給されにくくなります。

プラーナ（氣）が十分に人体の中を通ることができるように、プラーナ管を整えておく必要があります。そのためには頭頂部に立体カバラを置きます。

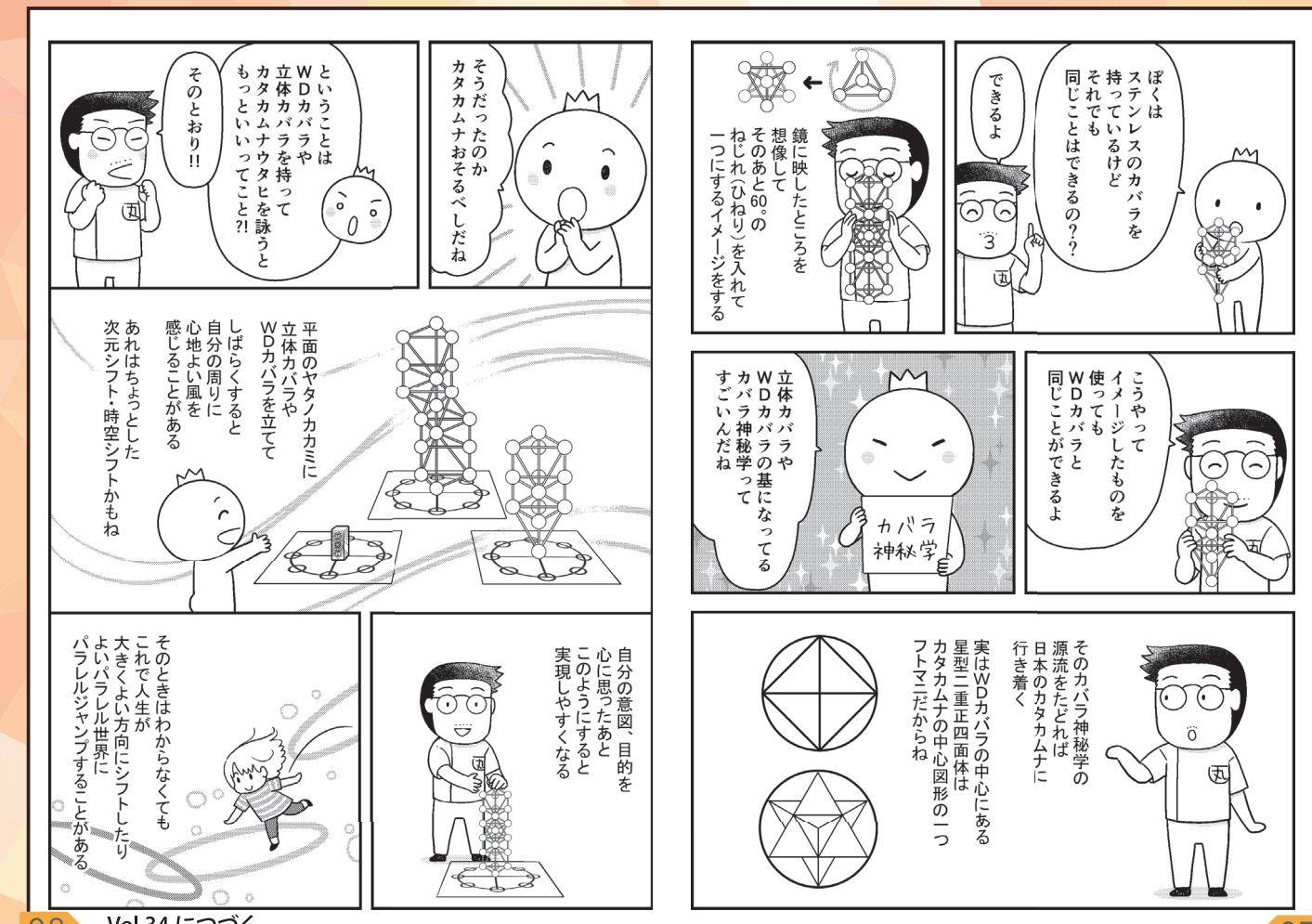
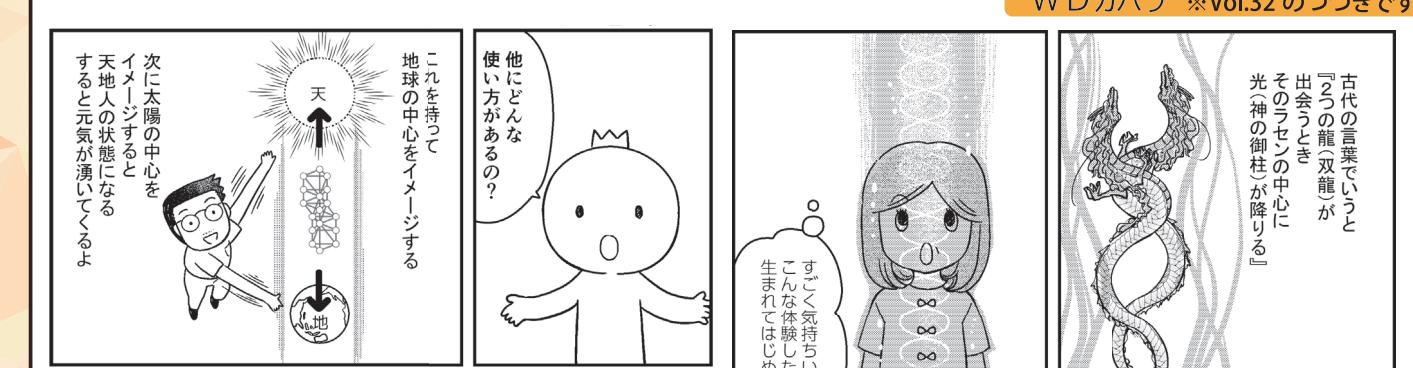
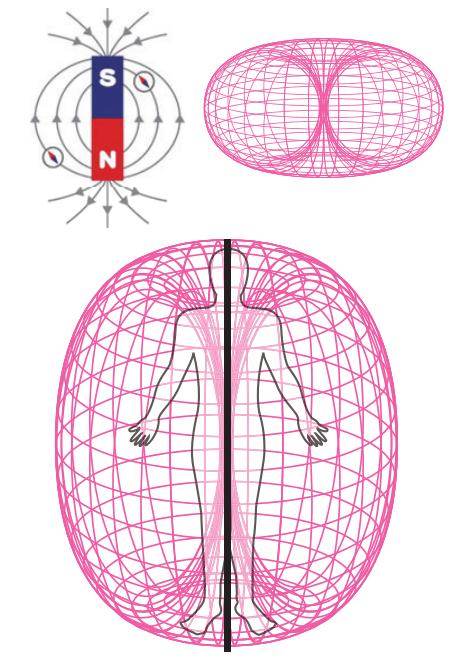


プラーナ体

光がプラーナ管に入ると、プラーナ（氣）になります。プラーナ（氣）は生命そのものの力に他ならないため、プラーナ（氣）が人の体を駆け巡って増強されなければ、私たちは生き続けることはできません。プラーナ（氣）は人の健康維持に大きく影響するだけでなく、人の意識の発達にも関係しています。そのプラーナ（氣）が循環する中心となるのがプラーナ管です。

プラーナ（氣）は、プラーナ管を中心軸として管状円環体（チューブトーラス）というドーナツ状の三次元立体のエネルギー場を形成します。これをプラーナ体といいます。

プラーナ体は、生命の基盤である電気と磁気を帯びた生命場であり、プラーナ管は生命場の中心に位置する電磁場の中央導管になっています。プラーナ体が弱いと、外部からの有害な電磁波を受け、人は健康でいられなくなります。5Gやこれからはじまる6Gの時代に生き残るには、プラーナ管を開いて十分な光を受け取り、それをプラーナ（氣）に変換する必要があります。そうすることで外部の電磁波に対するバリアーを強化することができます。



Vol.34につづく

WDカバラ ※Vol.32のつづきです

古代の言葉でいって
「2つの龍（双龍）が
出会うとき
そのラセンの中心に
光（神の御柱）が降りる」

07